

# JAコスモス地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、高知県の中西部にあり、仁淀川流域を中心に構成される中山間地帯で、5ヶ町村の行政区域にまたがっている。当地域での水稲作付は828.47ha（農業センサスより）で、ほぼ管内全域で生産されているが、栽培面積は佐川町406.31ha・日高村130.85ha・いの町198.65ha（吾北・本川地区含む）の平坦部で大半を占め、越知町・仁淀川町・いの町吾北・本川地区などの山間地域では水稲作付は少ない。

品種は、コシヒカリ、ヒノヒカリ、にこまる等の栽培が中心で、早稲米の栽培も行なわれているが、生産量では中生稲の栽培が多い地域である。

地域の基幹作物としては稲作・茶の栽培が中心であって、地域主要品目に、生姜、トマト、ニラ、イチゴ、ピーマンの5品目を位置付け、水耕野菜の施設園芸等と土物野菜サトイモを含め、品目集積および面積拡大に取り組んでいる。

当地域の現状としては、農業従事者の年齢構成65歳以上の者が65.4%（農業センサス年齢別基幹的農業従事者数）と大半を占めており、農業者の高齢化もあり稲作以外への品目転換・集積が少ない。また、後継者不足など担い手育成が進まない等も課題である。

これらのことから、担い手育成を含め基盤の強化を図り、水田活用に取り組む。

## 2 作物ごとの取組方針

### （1）主食用米

関係機関との情報交換を行い、需要と供給のバランスを取りながら水稲の生産に取り組む。地域条件に即した栽培品種を選定し、消費者ニーズに対応した生産体制の整備を進める。また、品質の良い米づくりや減農薬栽培など食の安全・安心への取組みを行う。

### （2）非主食用米、飼料作物

#### ア 飼料用米

主食用米の需要低下が見込まれる中、主食用米から飼料用米への転作を進める。

また、多収性専用品種の導入や担い手による作付を推進し、生産拡大を図る。

#### イ WCS用稲・飼料作物

当該地域では、畜産農家を中心に作付けが行われ、自家消費（畜産農家自家飼料）や、地元の畜産農家に供給されている。今後も地域における需要に応じて、担い手による作付を推進することで、栽培面積を確保し飼料自給率の維持・向上を図る。

#### ウ 備蓄米

主食用米と同等の価格水準が期待できることから、米の需給調整の手法の一つとして、担い手による作付を推進し、継続して取り組んでいく。

### (3) 麦、大豆、そば、なたね

生産条件・気象条件等から、作付け面積の大幅な拡大は望めないが、地元の直販所等への出荷も行なわれており、今後も多様な主食用米からの転換品目の一つとして、担い手による作付を推進し、取組を継続支援していく。

### (4) 野菜等

「トマト」、「ニラ」、「生姜」、「ピーマン」、「イチゴ」、「ミシマサイコ」、「サトイモ」を振興作物として面積拡大する。

#### ア) 野菜

##### ① トマト

地域内（日高村・佐川町・仁淀川町）では、高糖度トマトの栽培が盛んで、促成・夏秋トマトの周年出荷体制が整っている。また、販路等の確保もされており施設等も整っている。栽培管理技術に於いても、地域で勉強会等を行っており、新規就農者も取組み易い環境である。これらの体制を最大限に活かし、新規就農者の確保・育成を図るとともに、栽培面積の拡大及び安定生産に繋げていく。

##### ② ニラ

当地域の佐川町を中心に施設栽培を行い、山間部（仁淀川町・いの町）では、夏秋時期の露地栽培と周年出荷を行っている。集荷支援体制も整えており、農協の出荷施設まで各地域（山間地）の農家出荷場より集荷を行い栽培に専念できる体制にある。また、新規就農支援への取組みにも力を入れており、生産者の増加・栽培面積拡大に繋げる。

##### ③ 生姜

本県の主要農産物であり、近年の安定した販売単価から、農業者の生産意欲が高い野菜である。根茎腐敗病対策（臭化メチル廃止）の問題もあるが、栽培技術は確立されている。今後も栽培面積の拡大が見込め、有望品目として振興していく。

#### ④ピーマン

当地域全体で栽培面積拡大に向け、普及を図っている品目である。多くが露地雨よけ栽培であるが、栽培技術の普及や化学農薬使用を減らす天敵昆虫を活用した I P M 技術の導入により生産性向上に繋げ、安定生産を図る。

#### ⑤イチゴ

冬季栽培の高収益な品目であるが、品種の選定、苗の確保や病害虫等の問題もあり、栽培に管理・技術を要する品目であるため、現状の生産者の世代交代・後継者育成を優先的に行い、安定生産を図っていく。また、栽培管理技術の高位平準化を図るとともに I P M 技術の導入を進め、収量性・秀品率向上に向けた取組みを行う。当面は現状の面積を維持しつつ、計画的に面積を広げていく。

#### ⑥ミシマサイコ

当地域の越知町を中心にし、ミシマサイコの契約栽培の普及を図っている。販売形態としては、地元農事組合に販売後、大手製薬会社へ出荷されている。契約栽培であることから有利品目であり、今後も生産者を確保し面積拡大に繋げていく。

#### ⑦サトイモ

多様な品種でサトイモの栽培が行なわれているが、白芽芋など有利販売品目もあり、重点的に普及を図っていく。また、栽培においては、灌水施設の少ない山間地でも管理等が比較的簡単で、他品目の栽培と並行して作業が行えるため、条件不利地も含め、栽培面積を拡大し、農家所得の向上を図る。但し、販路確保が難しい品目であるため、販売活動の強化も併せて行っていく。

#### ⑧その他野菜

地域振興作物以外でも、水田を活用した多種多様な野菜の栽培が行なわれ、直販所等で販売されている。中でも、きゅうり・ナス等の県主要产品目や、アスパラガスの普及活動に力を入れ推進していく。

### イ) 花卉・花木・果樹・雑穀

当地域の佐川町では、ユリの栽培が盛んであり、農協の花弁部会を中心に面積拡大に努めている。果樹については、梨（新高梨）・ブドウの栽培も多く普及活動を行っている。また、山間部では栗・ユズの栽培面積の拡大も図っている。その他の花卉・花木・果樹・雑穀についても、条件不利地の活用や地元の直販所等へ出荷することによって、農家所得向上の一助となっていることから推進していく。

### ウ) 特用作物

ミシマサイコでの取引を生かし、当帰・ダイダイ・山椒と取扱い品目

を拡大させており、今後有望品目になると思われる。普及活動にも力を入れており、引き続き推進を図っていく。

### (5) 不作付地の解消

稲作以外の栽培には不向きな、低地・排水不良等の地域をはじめ、不作付地については、飼料用米等の作付を推進することにより解消を図っていく。

## 3 作物ごとの作付予定面積

| 作物             | 平成 25 年度<br>作付面積 | 平成 26 年度<br>作付予定面積 | 平成 28 年度<br>目標作付面積 |
|----------------|------------------|--------------------|--------------------|
| 主食用米           | 988.9 ha         | 963.3 ha           | 913.3 ha           |
| 飼料用米           | 0.1 ha           | 0.5 ha             | 0.9 ha             |
| WCS 用稲         | 5.2 ha           | 5.9 ha             | 5.9 ha             |
| 備蓄米            | 4.8 ha           | 3.8 ha             | 3.8 ha             |
| 麦              | 0.1 ha           | 0.1 ha             | 0.1 ha             |
| 大豆             | 0.8 ha           | 0.8 ha             | 0.8 ha             |
| 飼料作物           | 12.8 ha          | 12.8 ha            | 13.0 ha            |
| そば             | 0.5 ha           | 0.6 ha             | 0.6 ha             |
| なたね            | 0.0 ha           | 0.1 ha             | 0.1 ha             |
| その他地域振興作物      | 100.6 ha         | 109.5 ha           | 113.5 ha           |
| ・野菜等主要<br>7 品目 | 74.0 ha          | 76.0 ha            | 80.0 ha            |
| ・その他野菜         | 22.7 ha          | 24.0 ha            | 24.0 ha            |
| ・雑穀            | 0.0 ha           | 2.0 ha             | 2.0 ha             |
| ・特用作物          | 1.3 ha           | 4.0 ha             | 4.0 ha             |
| ・花卉、花木         | 2.2 ha           | 3.0 ha             | 3.0 ha             |
| ・果樹            | 0.4 ha           | 0.5 ha             | 0.5 ha             |

#### 4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

| 取組<br>番号 | 対象作物   | 取組  | 分類<br>※ | 指標   | 平成 25 年度<br>(現状値) | 平成 26 年度<br>(予定) | 平成 28 年度<br>(目標値) |
|----------|--|---|---------|------|-------------------|------------------|-------------------|
| 1        | 戦略作物<br>(麦、大豆、<br>飼料作物、W<br>CS用稲、飼<br>料用米)                     | 地域の担い手に位置<br>付けられる農業者に<br>よる、出荷・販売を<br>目的とした栽培。 | イ       | 実施面積 | 19.0 ha           | 20.1 ha          | 20.7 ha           |
| 2        | 地域振興作<br>物(トマト、<br>ニラ、生姜、<br>ピーマン、イ<br>チゴ、ミシマ<br>サイコ、サト<br>イモ) | 地域の担い手に位置<br>付けられる農業者に<br>よる、出荷・販売を<br>目的とした栽培。 | ウ       | 実施面積 | 74.0 ha           | 76.0 ha          | 80.0 ha           |

※「分類」欄

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の  
高い作物を生産する取組